



労働政策研究報告書 No. 51

2006

JILPT : The Japan Institute for Labour Policy and Training

現代日本人の視点別キャリア分析

日本社会の劇的な変化と労働者の生き方

労働政策研究・研修機構

現代日本人の視点別キャリア分析

—日本社会の劇的な変化と労働者の生き方—

はじめに

本研究は、プロジェクト研究「職業能力開発に関する労働市場の基盤整備のあり方に関する研究」の一部である。同プロジェクト研究においては、教育訓練サービスの供給側（プロバイダー）と需要側（労働者）の双方から、日本社会における職業能力開発の実態解明に取り組んでいる。

本研究は教育訓練サービス需要側からのアプローチに位置付けられ、労働者個人がどのように職業能力を身につけ、キャリアを形成しているかについて探ろうとするものである。一人ひとりの労働者のキャリア形成の実態をインタビューを通じてつぶさに調べ、マクロ的視点では十分になしえない問題の把握と分析を行うことを目的としている。

本研究では、インタビューの調査対象者として、1970年からおよそ10年にわたって行われた「若年労働者の職業適応に関する追跡研究」における「進路追跡調査」の対象者に協力を求めることとした。「進路追跡調査」は、雇用職業総合研究所（当時）と国立教育研究所（同）とが共同で行った調査である。その後、しばらくは調査をしていなかったため、今回は約25年ぶりの調査である。調査開始時に対象者の方々の年齢は15歳頃であったが、現在は50歳前後に達している。

すでに本調査については、労働政策研究報告書No.27『個人のキャリアと職業能力形成』において第一次的な整理を行ったところであるが、これに続いて、本報告書では、テーマを設定した詳細な検討をまとめている。

最後に、調査にご協力くださった対象者の方に、あらためて心からお礼を申し上げたい。

2006年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 小野 旭

執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	執筆章
おくつ まり 奥津 眞里	労働政策研究・研修機構 統括研究員	序章(共同執筆)、第4章、 終章(共同執筆)
ほり ゆきえ 堀 有喜衣	労働政策研究・研修機構 研究員	序章(共同執筆)、第3章、 終章(共同執筆)
いしだ ひろし 石田 浩	労働政策研究・研修機構特別研究員 東京大学教授	第1章
こすぎ れいこ 小杉 礼子	労働政策研究・研修機構 副統括研究員	第2章

プロジェクト研究「職業能力開発に関する労働市場の基盤整備のあり方に関する研究」 委員一覧

石田 浩	労働政策研究・研修機構 特別研究員 東京大学 教授
今野浩一郎	労働政策研究・研修機構 特別研究員 学習院大学 教授
稲川文夫	職業能力開発総合大学校能力開発研究センター企画調整部 室長 (前 労働政策研究・研修機構 主任研究員)
大木栄一	職業能力開発総合大学校 能力開発専門学科 助教授
奥津眞里	労働政策研究・研修機構 統括研究員
木村陽一	労働政策研究・研修機構 主任研究員
小杉礼子	労働政策研究・研修機構 副統括研究員
田口和雄	高千穂大学経営学部 助教授
平山正巳	労働政策研究・研修機構 副主任研究員(2004年～2005年)(職名は当時)
堀 有喜衣	労働政策研究・研修機構 研究員
藤波美帆	労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員 学習院大学博士後期課程
横山知子	労働政策研究・研修機構 副主任研究員

目 次

序章 本報告書の問題意識と調査の概要

1. プロジェクトの全体像…………… 1
2. 26歳時調査の概要と知見…………… 2
3. 今回調査の概要と調査対象者のキャリア形成の概略…………… 5

第1章 学校から職業への移行

1. はじめに…………… 9
2. コーホートを取り巻く社会・経済環境…………… 9
3. 調査データにみる学校から職業への移行…………… 15
4. インタビュー記録からみた学校から職業への移行過程…………… 23
5. おわりに…………… 34

第2章 転職・失業とキャリア形成・職業能力形成

1. はじめに…………… 39
2. 新卒時点の就職環境…………… 42
3. 第1期の転職ケースの分析（高卒までの学歴）…………… 43
4. 第1期の転職ケースの分析（高等教育卒業者）…………… 56
5. パネル調査結果の再分析…………… 63
6. 若い時代の転職をどう支援するか——第1期のまとめ…………… 69

第3章 職業資格、研修、自己啓発などの職場を離れた活動とキャリア

1. はじめに…………… 73
2. 現職が自営…………… 75
3. 民間転職なし…………… 85
4. 民間転職あり…………… 98
5. 公務一貫…………… 107
6. 公務非一貫 民間から公務へ…………… 114
7. 知見の要約と課題…………… 120

第4章 現在を生きることで未来を育む女性：生涯キャリアと職業との関わり

1. 女性のキャリア分析の視点…………… 125
2. 50歳女性の職業経験とその概要…………… 126
3. はじめての就職…………… 131

4.	青少年期の家庭	140
5.	結婚と職業	144
6.	現代社会を生きること未来を育む女性	172
7.	キャリアの自己採点は全員が合格点（小括）	178
終章 知見の要約と政策提言		
1.	各章の要約	181
2.	政策に対する示唆	187